

# OKIグループ

## コーポレート・ガバナンス(企業統治)

OKIグループは、企業価値の継続的な向上をめざし、「経営の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの迅速化」などを基本方針として、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

### コーポレート・ガバナンス体制

OKIは監査役設置会社であり、「取締役会」および「監査役会」により、業務執行の監督監査を行っています。また、執行役員制度を導入し経営と業務執行を分けることで、経営の効率向上を図っています。

月次開催の取締役会では、経営の基本方針など重要事項の決定や、業務執行の監督を行います。また、原則週1回開催する「マネジメント会議」では、OKIグループの業務執行に関する重要事項を決定するほか、各部門から業務執行に関する主要な報告を受けています。

監査役会は取締役会への出席などを通して、取締役の職務執行を監査します。また、内部監査部門との連携により、会社業務全般の実態を把握するとともに、業務執行の監査を行います。

### 各種委員会の設置

OKIは、コーポレート・ガバナンス機能を強化するために各種委員会も設けています。

「経営諮問委員会」はトップマネジメントのアドバイザー機関です。社外の有識者が参画することにより、経営の透明性・健全性を高めることを目的としています。

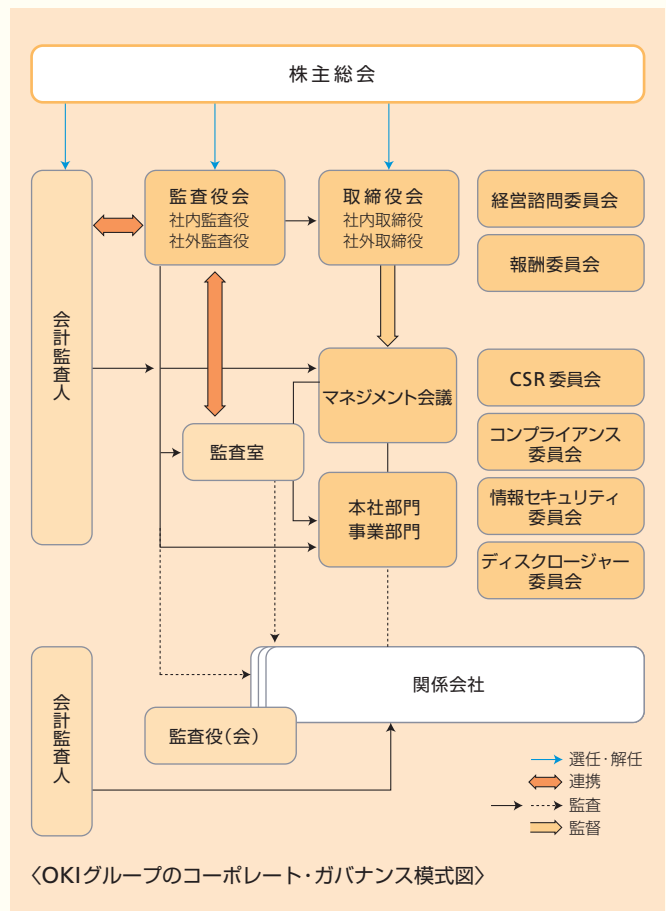
「報酬委員会」は、取締役、執行役員、執行参与の報酬の水準や仕組みの透明性を維持するためのものです。

「コンプライアンス委員会」は、CCO(チーフ・コンプライアンス・オフィサー)を委員長とし、コンプライアンスに関する基本方針の審議を行う全社横断的な機関として設置しています。また、「ディスクロージャー委員会」は、多様なステークホルダーに対し正確・迅速な情報開示を実施するために設置しています。

2007年度には新たに、グループのCSR活動に関する基本方針の審議を行う「CSR委員会」と、情報セキュリティ施策徹底のための「情報セキュリティ委員会」を設置しました。

### 内部統制システムの構築

OKIは、2006年5月の会社法の施行に伴い、同月、「内部統制システム構築の基本方針」を取締役会で決議し、発表しました。本方針に則り、OKIグループとしてのコーポレート・ガバナンスをさらに強化していきます。



# の社会的責任

## 企業の社会的責任(CSR)

企業理念「OKIは『進取の精神』をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。』のもと、関係法令の遵守はもちろん、社会的良識をもって健全な企業活動を展開し、CSRを果たすための諸活動に取り組んでいます。

### 「OKIグループ行動規範」を制定

OKIは2007年8月、CSRを果たす上で役員・社員がとるべき行動の規範として「OKIグループ行動規範」を制定しました。

OKIは2005年、企業理念に基づいてCSRを果たすためにグループ全企業が共有すべき価値観として「OKIグループ企業行動憲章」を制定しました。リスクマネジメントの推進や財務報告にかかわる内部統制の整備など、グループ統制の強化にも積極的に取り組んでいます。グローバル企業としてこうした活動をさらに推進するためには、憲章に則って役員および社員がとるべき行動について、グループとしての統一的な規範が必要と判断しました。2007年3月までに国内外の全グループ企業において同規範の採択を完了しており、今後、役員・社員一人ひとりへの徹底を図っていきます。

### 環境ISOの統合認証範囲を拡大



新たに統合された日沖電子  
科技(昆山)有限公司

OKIグループは、環境マネジメントシステムの統合による情報の共有化と業務の効率化をめざし、環境ISOの統合認証を推進しています。2007年度はグループとして初となる中国のグループ企業2社を含め10サイトを追加統合し、グループ全体で42サイトの統合が完了しました。

近年、化学物質による環境汚染への関心の高まりから、製品に含有される化学物質の規制が急速に強化されています。OKIグループでは従来、グループ企業各社が独自に製品含有化学物質を管理していましたが、中国の生産拠点を統合することで、化学物質情報の収集や各国規制への適合性の確認が、設計・開発から購買、生産、出荷まで業務プロセス全体を通して一元管理できるようになります。

今後も、化学物質や省エネルギー対策を中心に、温暖化物質排出量の削減、廃棄物の削減・再利用・再資源化など、一貫した環境施策と質の高い環境経営の実践をめざします。

### 環境教育を支援するボランティア活動を実施

OKIグループは、2008年2月10日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「全国学校ビオトープ<sup>※</sup>・コンクール2007」発表会(主催:日本生態系協会)の運営を支援しました。OKIのビデオ会議システム「Visual Nexus<sup>®</sup>」を活用して、発表会場の様子を北海道・徳島・大阪の幼稚園や小中学校に中継し、会場に足を運べない学校関係者の方々にご覧いただきました。撮影した映像は、学校ビオトープの普及に活用されます。

※ ビオトープ: 地域の野生の生きものたちが自立して生息・生育する空間の意味



発表会の様子を生中継する  
OKIグループの  
ボランティアスタッフ

